資料２

「低炭素都市なごや戦略実行計画」修正点

１　本編

箇　　所	対　　応
p3 名古屋市の現状 温室効果ガス排出量の特徴	その一方で、自動車の利用が高いことから二酸化炭素排出量は多くなっています。 ←　下線部分の記載を追加
p19 削減目標 排出目標量の表	排出目標量の表に、2050 年の削減率（挑戦目標）1990 年比 8 割削減を追加
p21 めざす姿 低炭素住生活	低炭素「住」生活の「　」を削除 ※　本冊子におけるすべての部分について「　」を削除
p28・29・30・32・34 風土を生かした「低炭素モデル地区」の形成、我が家の低炭素化 10 年計画プロジェクト等重点施策	各々に対応している施策のロードマップの頁数を記載 《例》 p28　駅そば生活　参照 p40 低炭素住生活　【くるま】　参照 p44 など
p34 事業活動 「行政」自らの低炭素化！名古屋市役所環境行動計画２０２０ ①　目標	「名古屋市役所環境行動計画 2020」に掲げる目標が本計画における目標と同様の目標に当たることの説明を追加
p76・77 《ステップ２》 運用改善による省エネ	運用改善による対策例について、注意点を記載 《例》 p76　冷水出口温度の管理 ※　空調器のコイル能力の確認が必要です。

２　資料編

○　資料編の位置づけを、本編で掲載した内容をより深く理解し、身近に感じていただけることを目的に作成。また、パブリックコメントにも対応。

○　目次では、資料編の位置づけ及び関連する本編の頁数を記載。

○　名古屋市の主体別･対策別削減量のシミュレーションとして 2020 年に 1990 年比 25%削減を達成するためのシミュレーションを記載（p4・5）